

インバウンド推進事業【地域資源を活用した商品造成のためのモニターツアー実施】

1 背景・目的

- ・本市には、千年を超える歴史的、文化的な基盤と、和紙や打刃物、筆筒の伝統工芸が受け継がれている。
- ・4月に開催した「国際木版画会議」にあわせ、亅が辻を中心に行われた外国人参加者向け市民交流会では、寺院で琴、尺八演奏、日本舞踊の鑑賞を行ったところ、まちなかの「風情」なども高く評価された。
- ・外国人観光客をターゲットに、地域資源を活用した実証実験としてのモニターツアーを行うため、観光庁の国庫補助を活用する。
- ・モニターツアーによる専門家の意見を踏まえたうえで、旅行会社が本ツアーを造成することで、インバウンド誘客の拡大を図る。

2 事業費

38,057千円（国庫補助率10/10）

※観光庁「特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業」補助金

3 事業内容

・モニターツアー

【実施時期】 令和6年8月～9月 3回・延べ10人分 ※国の補助金を活用

【対象者】 8月 ①モデル（2名） パンフ用の食事、平安衣装・雅楽・舞などの写真・動画撮影
 9月 ②旅行会社（6名） 食事やルート、雅楽など、各コンテンツの現地確認、助言
 ③専門家（2名） 各コンテンツの演出方法など、磨き上げ等の助言

・アンケート実施

【実施時期】 8～9月 モニターツアーアンケート、10月 本ツアーアンケート

・事業経費内訳

モニターツアー費	21,300千円	宣材写真、カメラマン費用、モデル費、雅楽出張費	10,700千円
		モビリティレンタル代、現場調査費	10,600千円
企画・開発費	16,757千円	アンケート翻訳、ガイド翻訳、パンフ作成、プロモーション費	9,230千円
		ルート開発、商品造成、演出デザイン	7,727千円
合計	38,057千円		



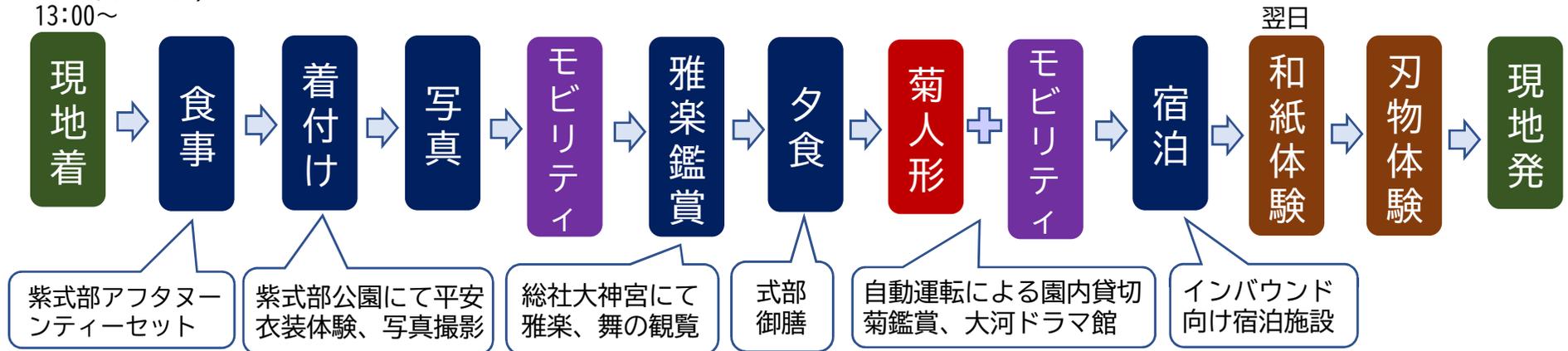
▲平安時代の食事を再現した料理

インバウンド推進事業【地域資源を活用した商品造成のためのモニターツアー実施】

5 本ツアー内容（想定）

- ・外国人向けに、紫式部公園にて平安衣装体験や、自動運転による夜間菊人形貸切鑑賞、料亭での食事、インバウンド向け宿泊、和紙体験、刃物体験などのツアーを、旅行会社が実施する。
- ・実施時期（想定） 令和6年10月10日（木）～14日（祝・月）5日間 ※旅行会社が実施

（本ツアーイメージ）



6 スケジュール

2024年						2025年	
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
7月23日 市 報道発表 議会 全会員説明会	8月・9月 モニターツアー 3回・延べ10人		10月 10日～14日 本ツアー	11月～12月 結果取りまとめ 次年度事業内容検討		1月～2月 国事務局へ 事業報告	



▲平安衣装着付け体験



▲自動運転モビリティ